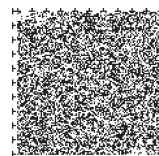
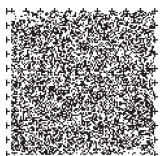

資料





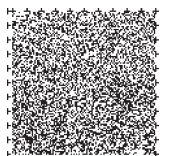
障害者アンケート調査結果

1. 調査の概要

- 調査対象者及び抽出方法
 - ①平成29年3月31日現在で和歌山県内に居住する障害者手帳（身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳）を所持している方5,600人
（内訳）
 - ・身体障害者（身体障害者手帳所持者）4,000人
 - ・知的障害者（療育手帳所持者）800人
 - ・精神障害者（精神障害者保健福祉手帳所持者）800人
 - （抽出方法）
 - ・上記障害者手帳所持者毎に市町村別、障害種別（身体障害者のみ）、障害等級別、年齢層別に無作為抽出
- 調査方法
郵送による帳票の送付、回収及び礼状（兼催促状）の送付
- 調査時期
平成29年10月中旬に調査票を送付（調査期間は1ヶ月程度）
- 有効回答数
アンケートの返信は2854件あり、これを有効回答数としました。

2. アンケートの見方

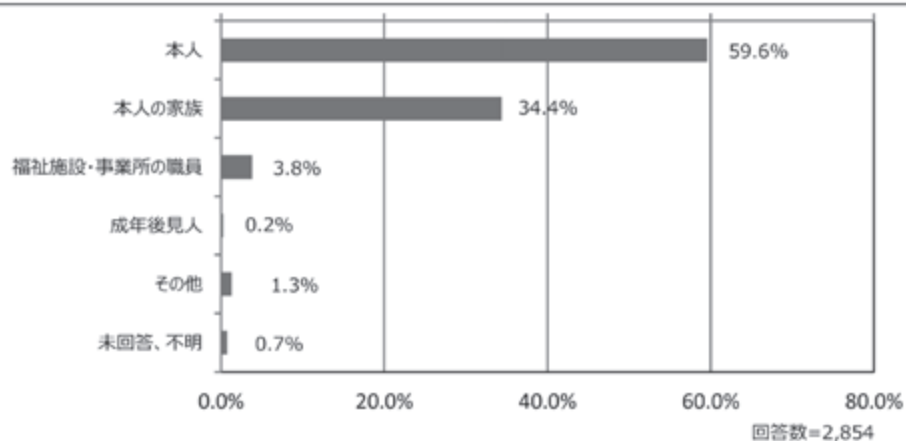
- 回答結果の割合「%」は有効回答数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。
- 複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の場合、有効回答数に対して選択肢ごとの回答数の割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- 図表中において「無回答・不明」と記載されているものは、アンケート内に回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- 図表中の「回答数 = 数字」は集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表しています。



3. 回答いただいた方の状況

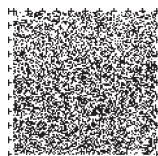
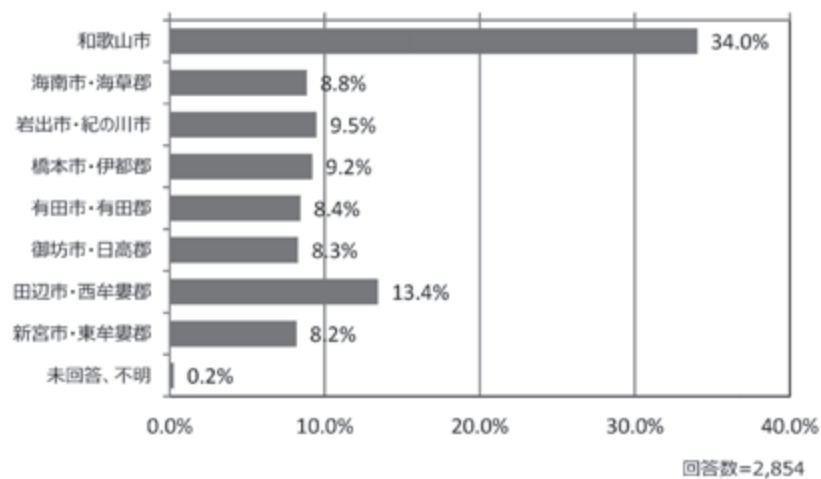
- このアンケートは、誰がご記入されましたか。

記入された方については、59.6%の方がアンケートをご自身で記入されています。次いで多かったのが「本人の家族」で34.4%となっています。



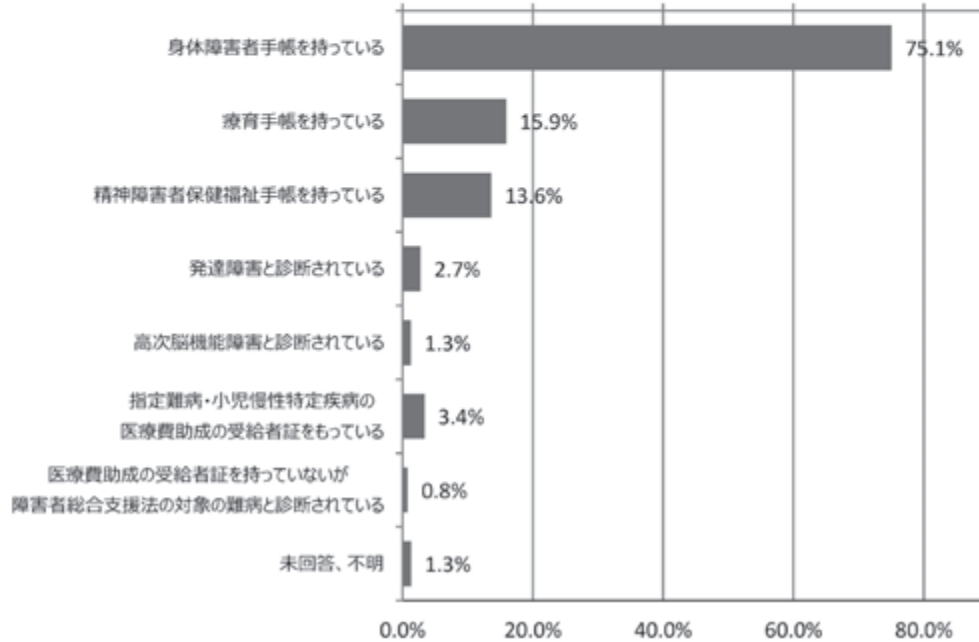
- お住まいの地域はどこですか。

「和歌山市」にお住まいの方が最も多く34.0%でした。次いで多かったのが「田辺市、西牟婁郡」で13.4%となりました。



○ あなたがお持ちの障害者手帳や障害の診断などについておたずねします（あてはまるもの全てに○をしてください）。

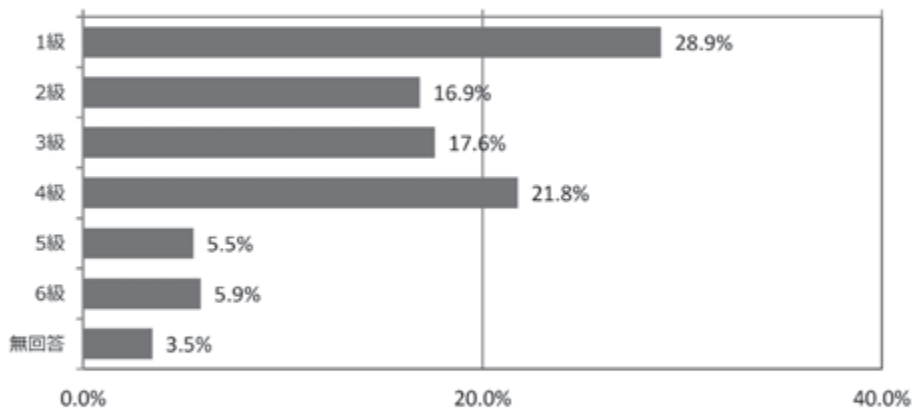
「身体障害者手帳を持っている」方が最も多く、75.1%でした。次いで多いのが「療育手帳を持っている」方が15.9%、「精神障害者保健福祉手帳を持っている」方が13.6%となりました。



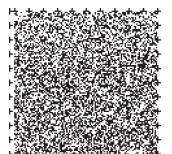
回答数=2,854

○ 身体障害者手帳をお持ちの方におたずねします。
 (1) 総合の等級は次のうちどれですか (1 つに○をしてください) 。

最も多いのが「1級」で28.9%、次いで多いのが「4級」で21.8%となりました。

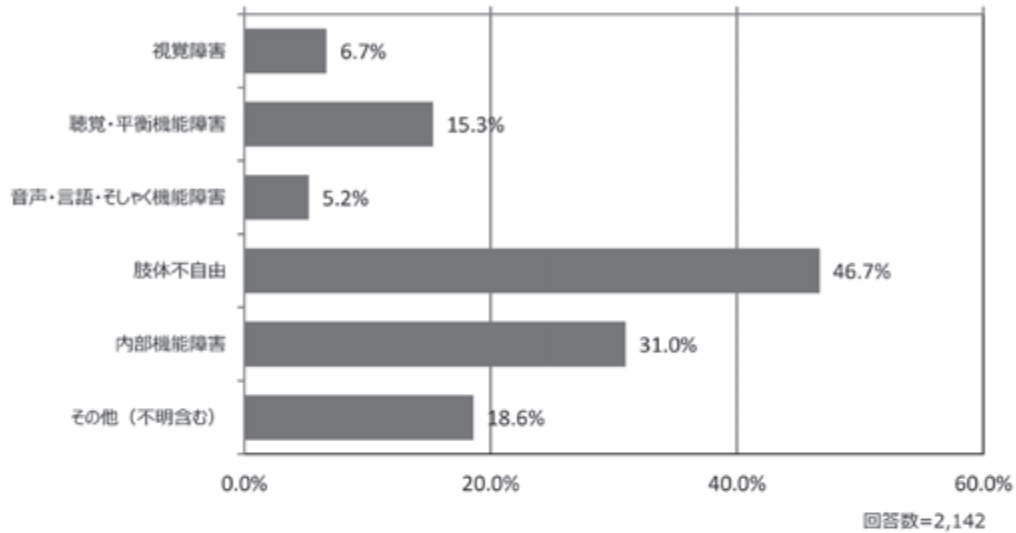


回答数=2,142



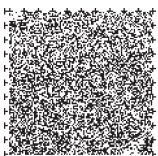
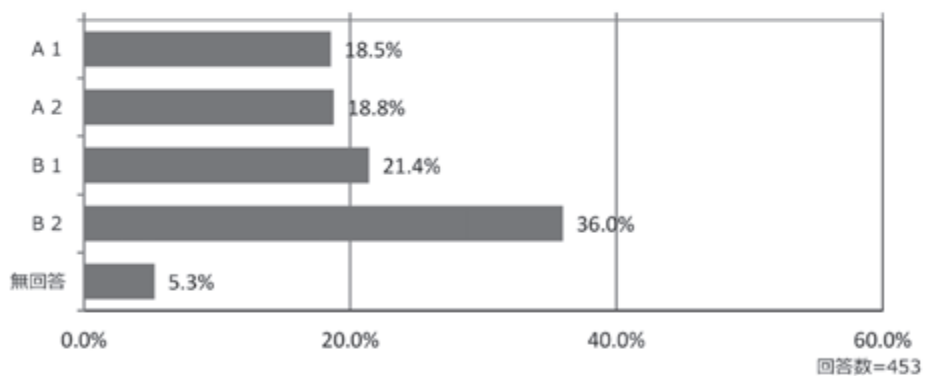
(2) 障害の種類をお答えください (あてはまるもの全てに○をしてください)。

最も多いのが「肢体不自由」で46.7%、次いで多いのが「内部機能障害」で31.0%、「聴覚・平衡機能障害」で15.3%となりました。



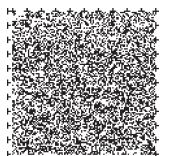
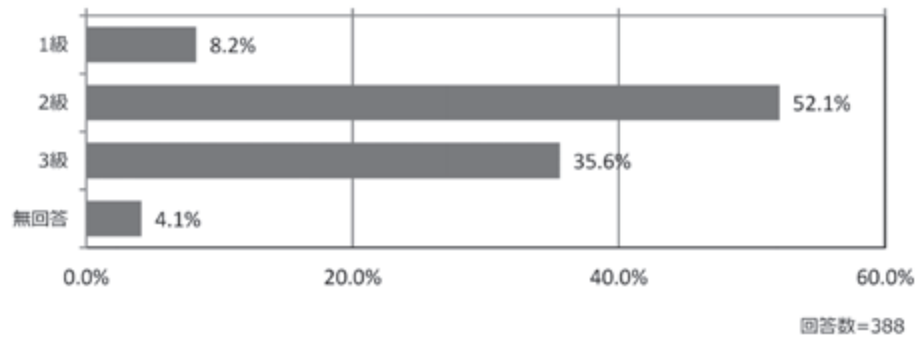
○ 療育手帳をお持ちの方におたずねします。障害程度は次のうちどれですか (1つに○をしてください)。

療育手帳をお持ちの方の中で、最も多いのが「B2」の療育手帳を持っている方で36.0%、次いで「B1」の21.4%、「A2」の18.8%と続きました。



○ 精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方におたずねします。等級は次のうちどれですか（1つに○をしてください）。

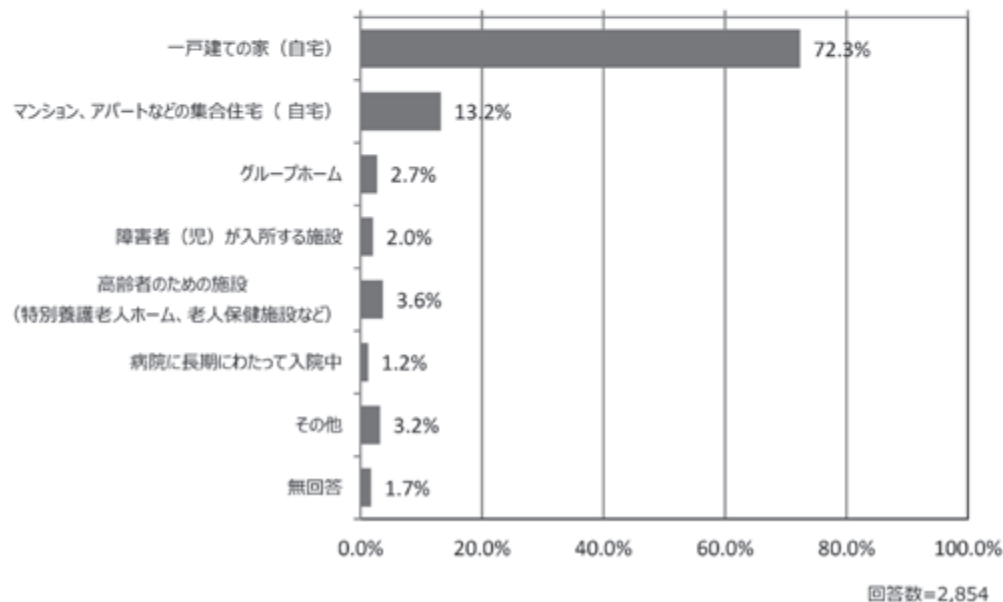
精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方の中で、最も多いのが「2級」で52.1%、次いで多いのが「3級」で35.6%、「1級」で8.2%となりました。



4. お住まい

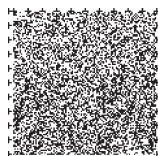
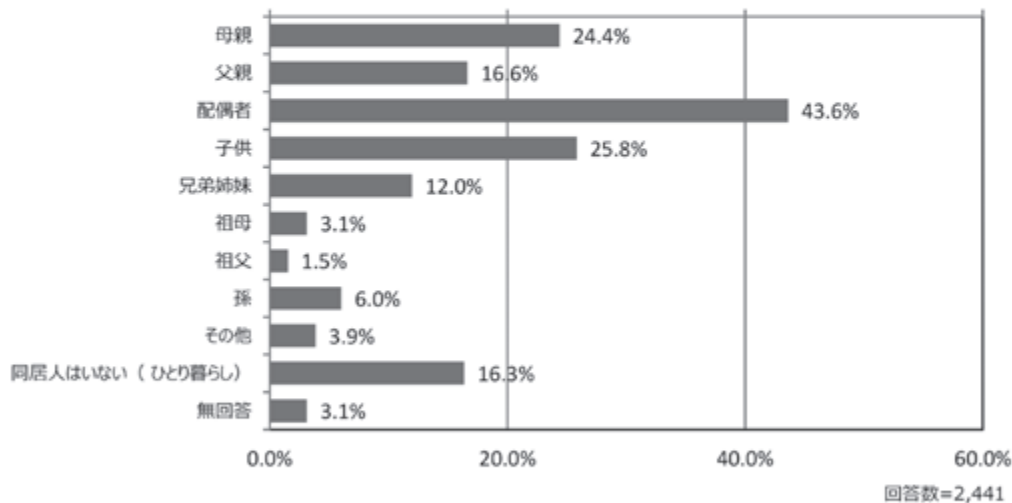
- あなたのお住まいは、次のうちどれですか（1つに○をしてください）。

最も多かったのが「一戸建ての家（自宅）」にお住まいの方で72.3%でした。次いで多かったのが「マンション、アパートなどの集合住宅（自宅）」で13.2%と続きました。自宅に住んでいる方は合わせて、85.5%となりました。



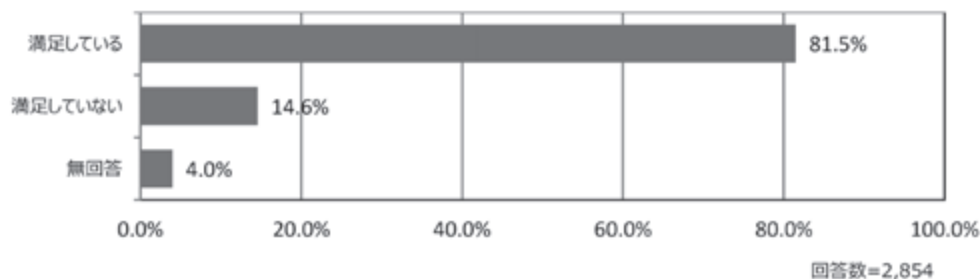
- 「一戸建ての家（自宅）」または「マンション・アパートなどの集合住宅（自宅）」を回答された方におたずねします。同居しているご家族の方についてお答えください（あてはまるもの全てに○をしてください）。

最も多かったのが「配偶者」と同居している方で43.6%でした。次いで多かったのが「子供」と同居で25.8%、母親と同居で24.4%となりました。



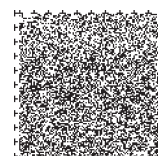
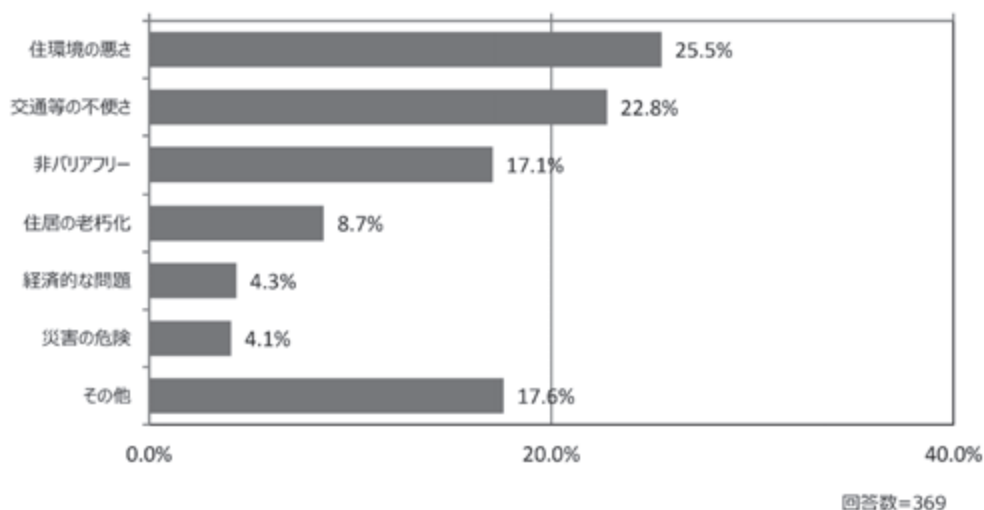
- あなたは今、住んでいるところに満足していますか
 (1つに○をしてください。なお、「満足していない」場合、その理由も教えてください)。

今、住んでいるところに「満足している」方のほうが多く全体の81.5%となりました。



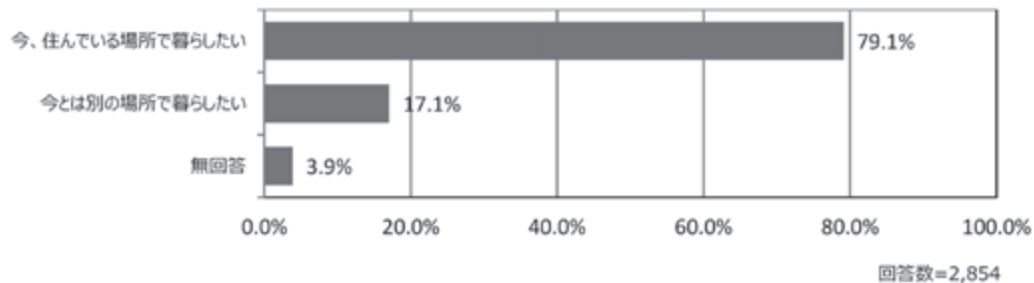
- 「満足していない」と回答された方の理由

今住んでいるところに「満足していない」理由として「住環境の悪さ」が最も多く25.5%、次いで多かったのが「交通等の不便さ」で22.8%となりました。



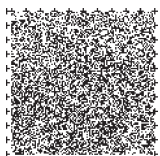
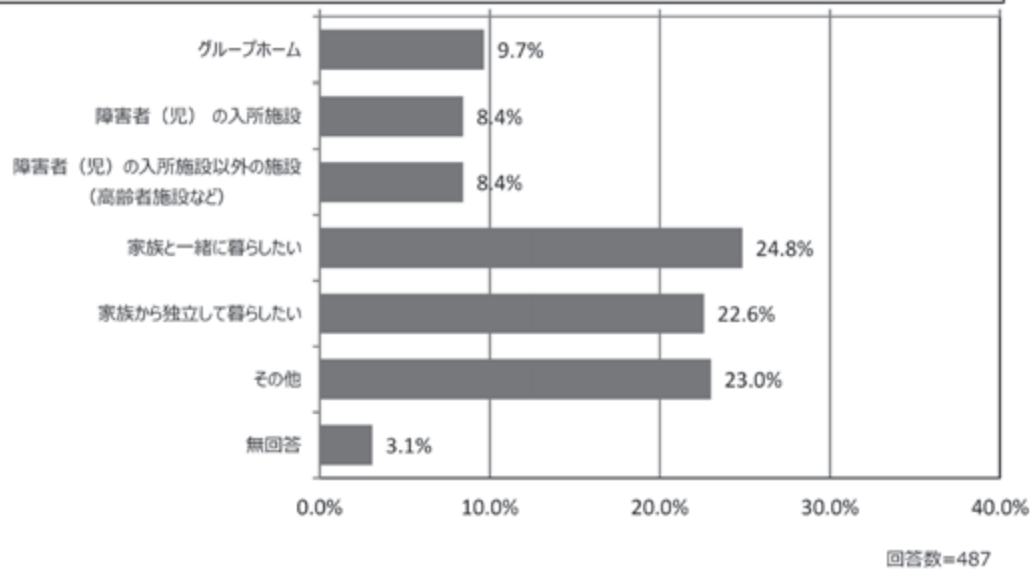
○ あなたは将来、どのような暮らしをしたいと思いますか（どちらかに○をしてください）。

将来にわたり、「今、住んでいる場所で暮らしたい」と思っている方がのほが多く、割合は79.1%でした。



○ 「今とは別の場所で暮らしたい」と回答された方におたずねします（1つに○をしてください）。

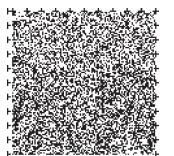
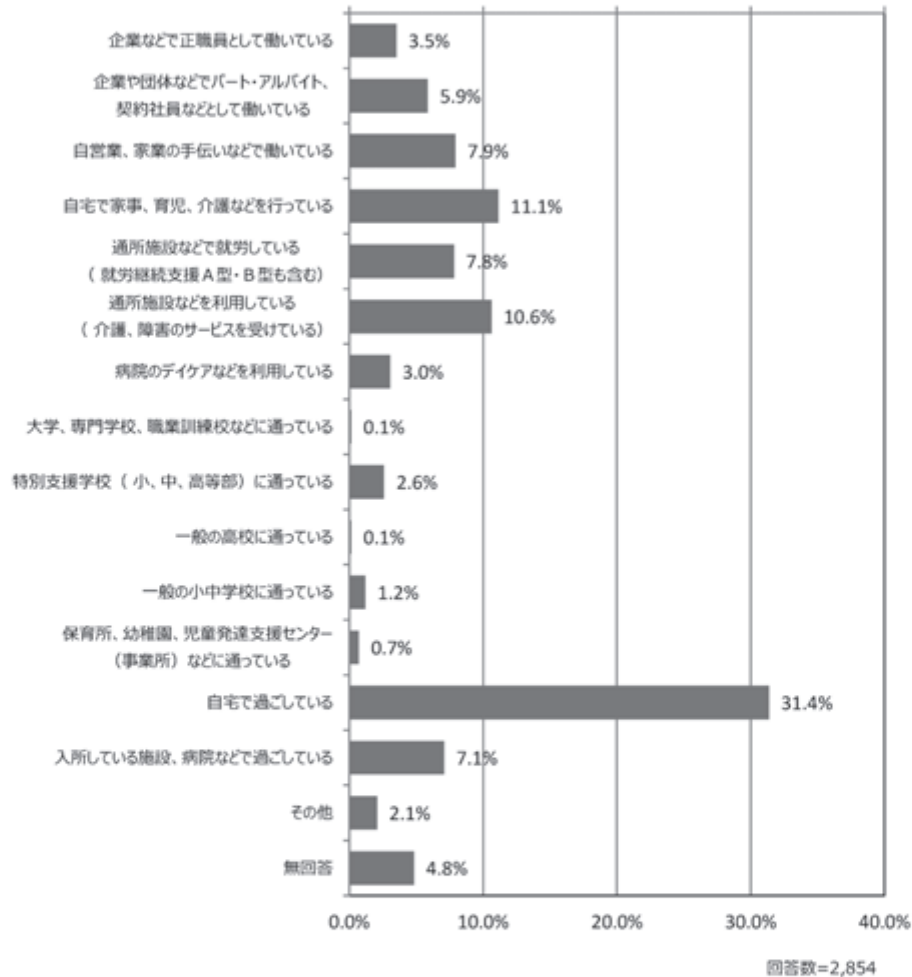
前問で「今とは別の場所で暮らしたい」と回答された方の中で、「家族と一緒に暮らしたい」と回答された方が最も多く、24.8%でした。また、その反面「家族から独立して暮らしたい」と回答された方も次いで多く、22.6%となりました。



5. 日常生活

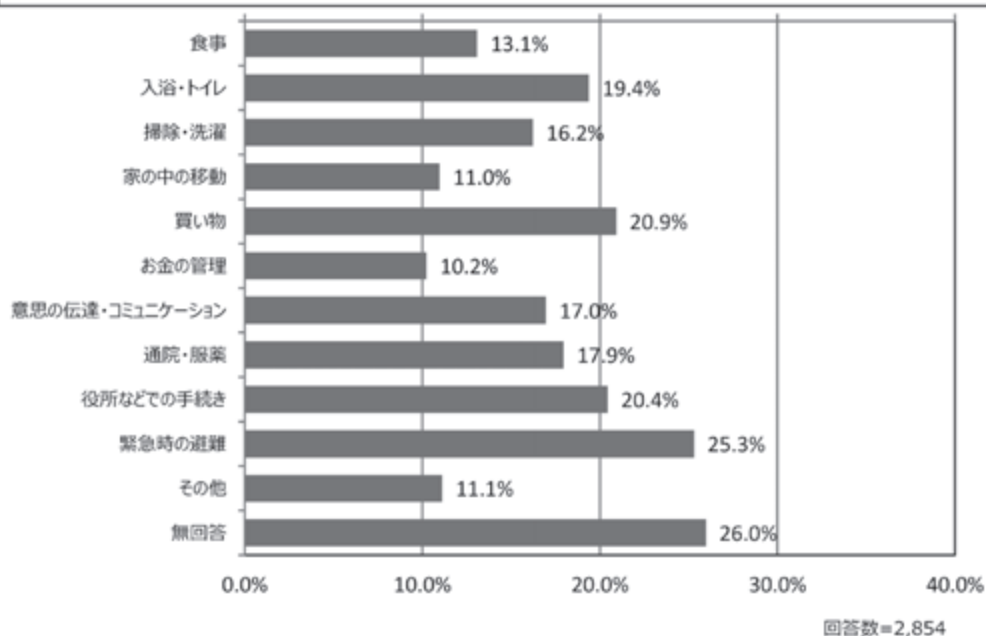
- 日中の過ごし方についておたずねします。あなたは平日の日中（昼間）、主にどのようにお過ごしですか。（1つに○をしてください）。

最も多いのが、「自宅で過ごしている」で31.4%、次いで多いのが、「自宅で家事、育児、介護などを行っている」が11.1%、「通所施設などを利用している（介護、障害のサービスを受けている）」が10.6%となりました。



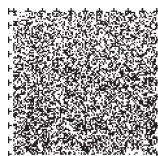
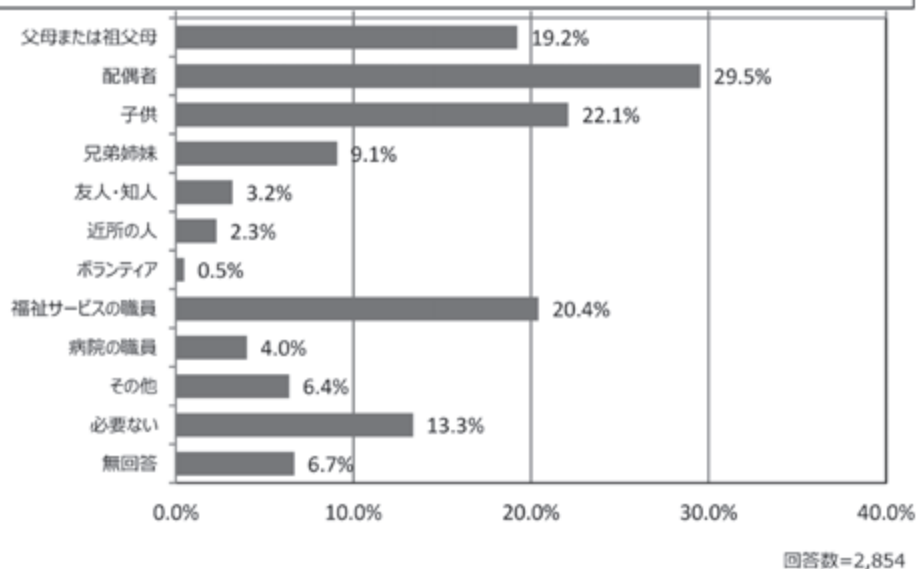
- あなたは普段の生活の中で、困っていること（不安に思っていること）はありますか（あてはまるもの全てに○をしてください）。

最も多いのが、「緊急時の避難」で25.3%、次いで多いのが、「買い物」が20.9%、「役所などでの手続き」が20.4%となりました。



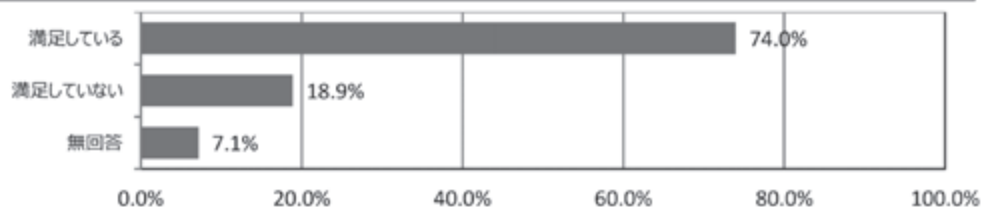
- あなたの生活を主に介助・支援しているのは誰ですか（多い人に3つまで○をしてください）。

最も多いのが、「配偶者」で29.5%、次いで多いのが「子供」で22.1%、「福祉サービスの職員」で20.4%となりました。



○ あなたは日中の過ごし方について、満足していますか。

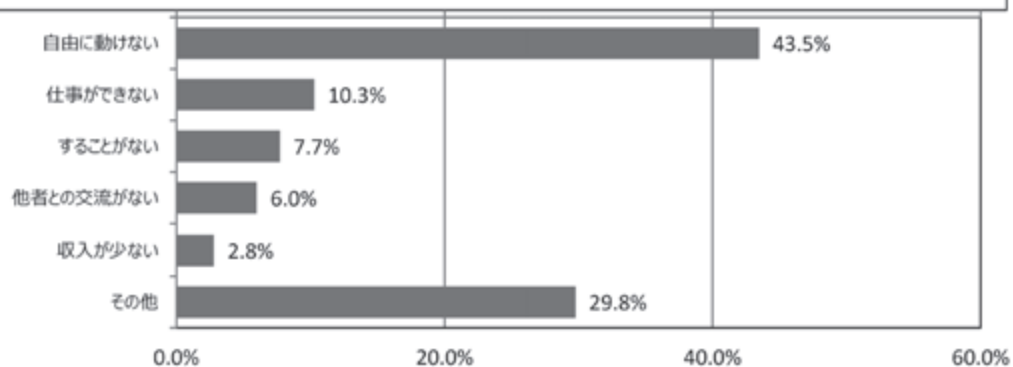
「満足している」と回答された方が多く、割合は74.0%となりました。



回答数=2,854

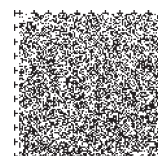
○ 「満足していない」と回答された方の理由

「満足していない」と回答された理由で、最も多いのが「自由に動けない」で、割合は43.5%、次いで多かったのが「仕事ができない」で10.3%となりました。



回答数=467

その他には、「障害があることで、周りの人とのコミュニケーションがうまくできない」「もう少し外に出て活動的になりたい」「将来のことを考えると不安」との回答がありました。



6. 障害福祉サービスの利用

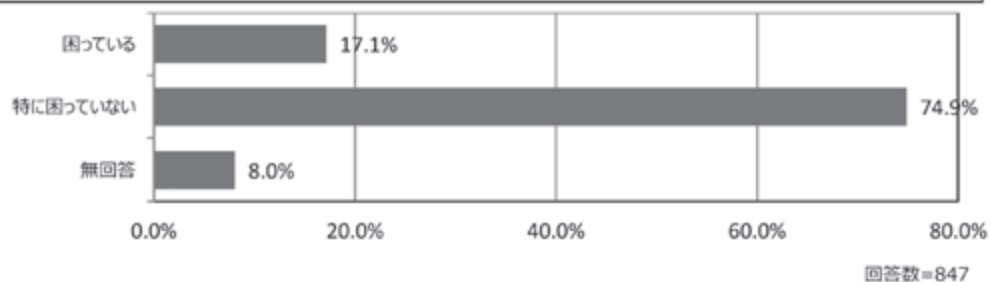
- あなたは現在、障害福祉サービスを利用していますか（あてはまるもの1つに○をしてください）。

「利用していない」と回答された方のほうが多く、割合は60.1%となりました。



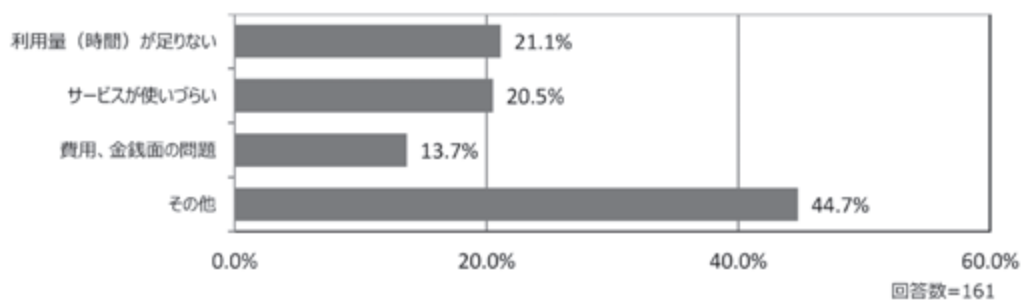
- 「利用している」とお答えいただいた方におたずねします。現在、障害福祉サービスを利用するにあたり、困っていることはありますか（あてはまるもの1つに○をしてください）。

障害福祉サービスを利用している方内、「特に困っていない」と回答された方のほうが多く、割合は74.9%となりました。

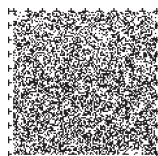


- 「困っている」と回答された方が回答した困っている内容

困っている内容として、最も多かったのが「利用量（時間）が足りない」で、割合は21.1%となりました。次いで多かったのが「サービスが使いづらい」で20.5%となりました。



その他には、「福祉サービスのメニュー全体が理解できない」「事業所までの交通の便が悪い」等の回答がありました。

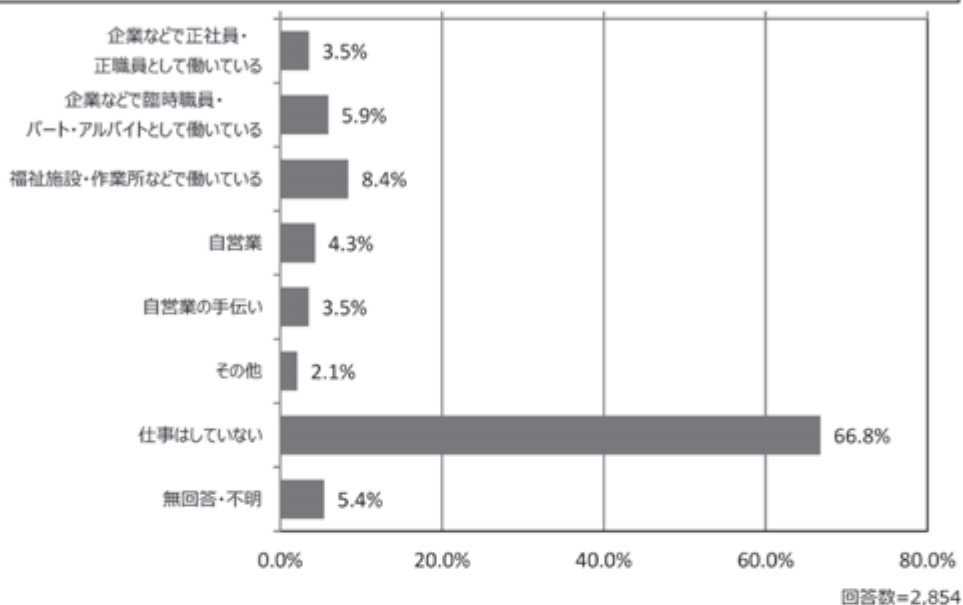


7. お仕事

○ あなたのお仕事についておたずねします。

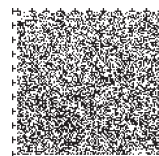
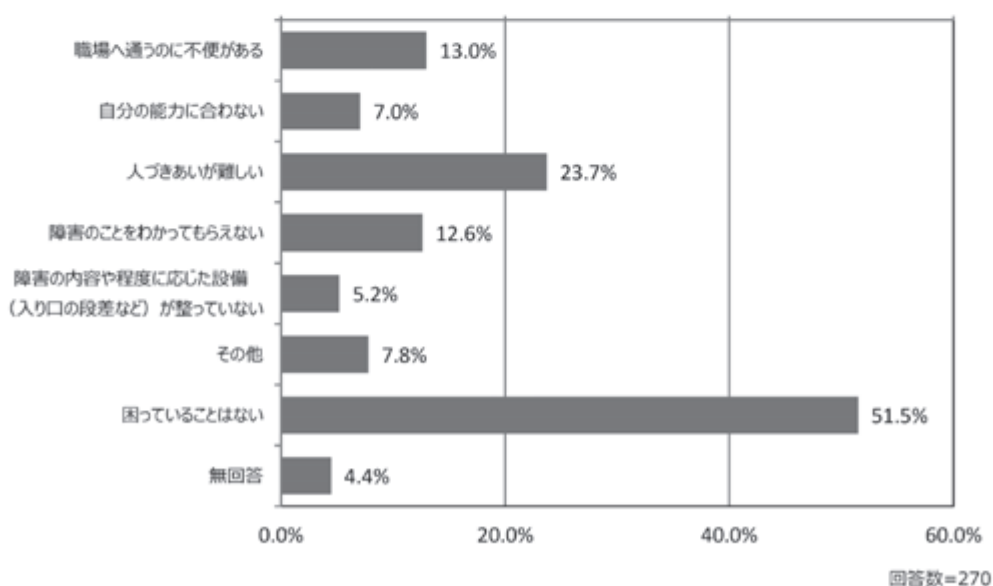
(1) あなたは今、仕事に就いていますか。

最も多いのが「仕事はしていない」、と回答された方で、割合は66.8%となりました。次いで多いのが「福祉施設・作業所などで働いている」で割合は8.4%となりました。



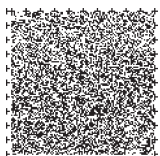
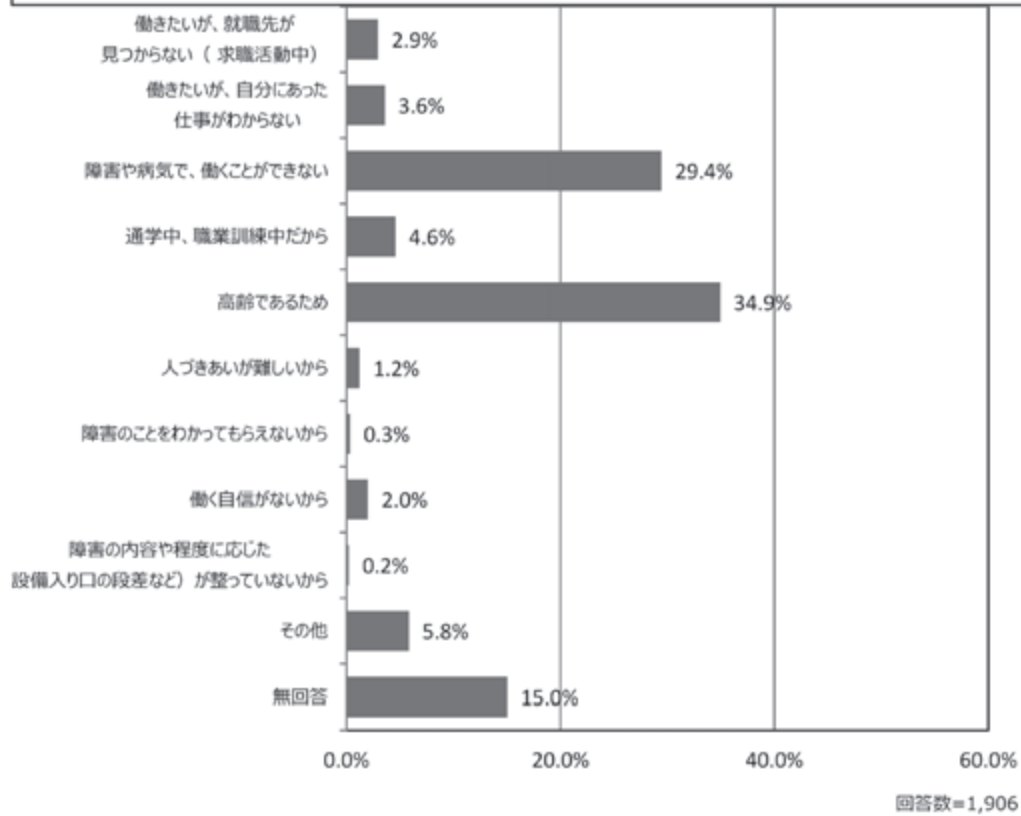
(2) 「企業などで正社員・正職員として働いている」「企業などでパート・アルバイトとして働いている」とお答えいただいた方におうかがいします。仕事をしていて、困っていることはありますか（あてはまるもの全てに○をしてください）。

「困っていることはない」の割合は51.5%となりました。困っていることがある方の中で最も多いのが、「人づきあいが難しい」で23.7%、次いで多いのが「職場へ通うのに不便がある」で13.0%となりました。



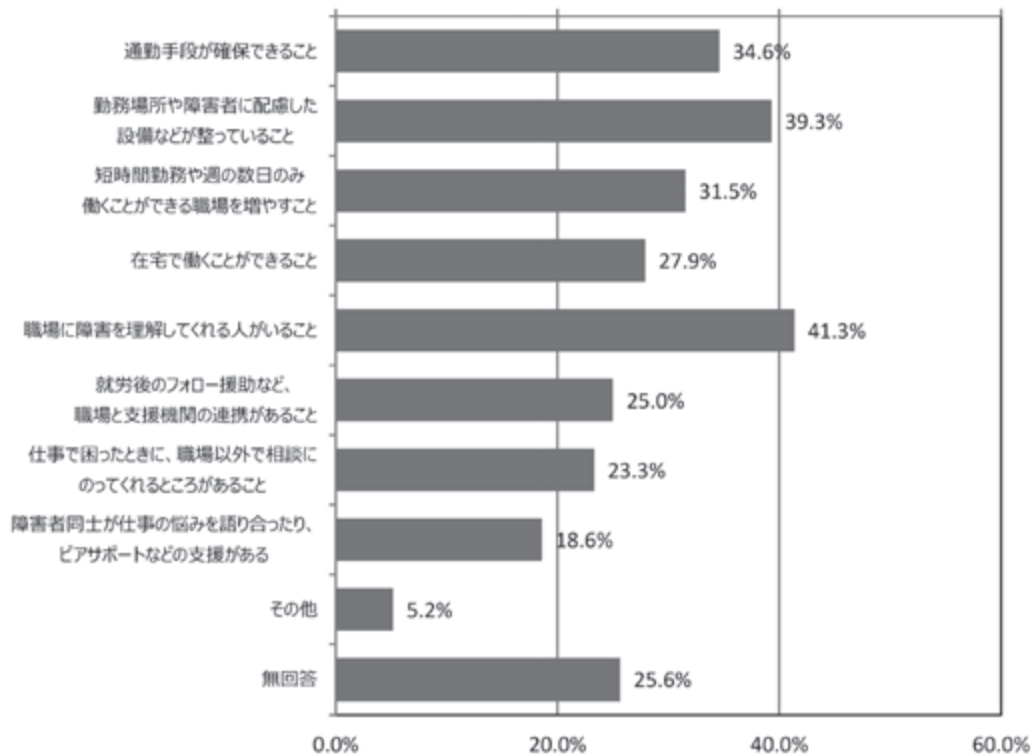
(3)(1)の質問で、「仕事はしていない」とお答えいただいた方におうかがいします。
今、あなたがお仕事に就かれていない理由はなんですか（1つに○をしてください）。

最も多いのが「高齢であるため」でその割合は34.9%でした。次いで多いのが「障害や病気で、働くことができない」で29.4%でした。

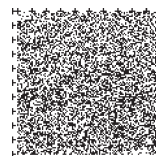


- 全ての方におたずねします。障害者の就労を進めるために、どんなことが必要だと思いますか。
(あてはまるもの全てに○をしてください)

最も多いのが「職場に障害を理解してくれる人がいること」を回答された方でその割合は41.3%となりました。次いで多いのが「勤務場所や障害者に配慮した設備などが整っていること」で39.3%となりました。



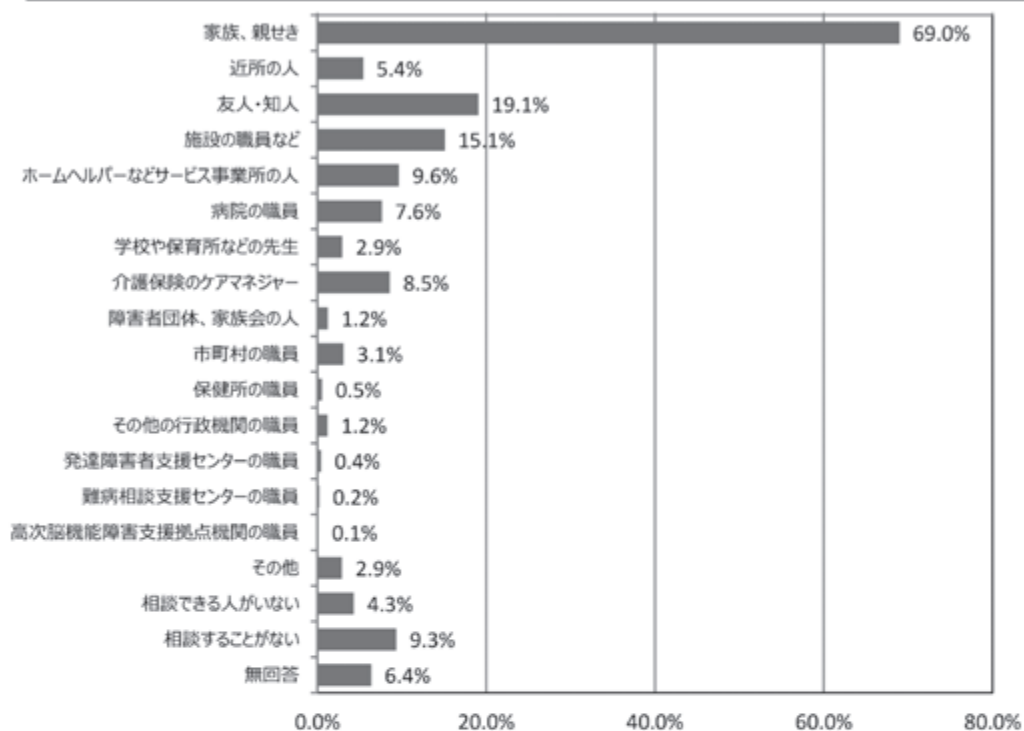
回答数=2,854



8. 悩みや相談

- あなたが日常生活で困ったことや悩むことがあるとき、誰に相談していますか（多い人に3つまで○をしてください）。

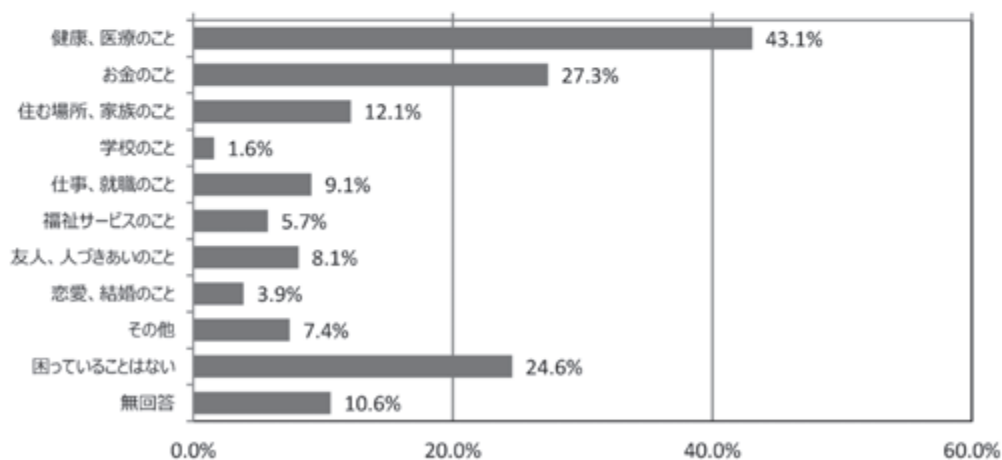
最も多いのが「家族、親せき」で69.0%で、次いで多いのが「友人・知人」で19.1%、「施設の職員など」で15.1%と続きます。



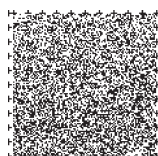
回答数=2,854

- 今、どんなことに困ったり悩んだりしていますか（あてはまるもの全てに○をしてください）。

最も多いのが「健康、医療のこと」と回答された方で割合は43.1%となりました。次いで多いのが「お金のこと」で27.3%、「住む場所、家族のこと」で12.1%となりました。

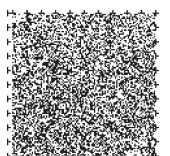
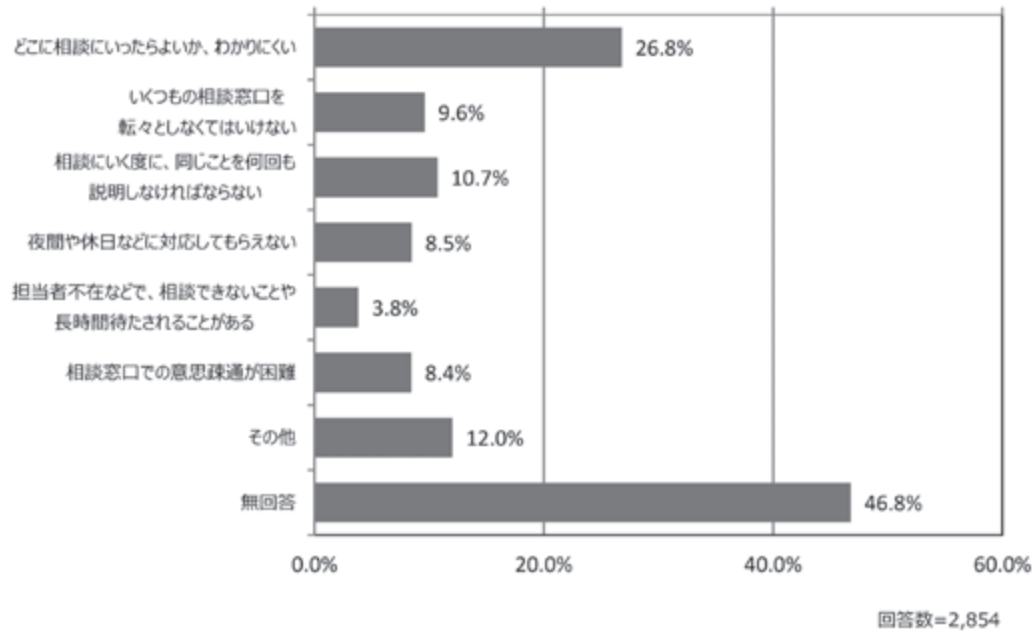


回答数=2,854



○ あなたが役場などの相談窓口を利用するときに、困ることはありますか（あてはまるもの全てに○をしてください）。

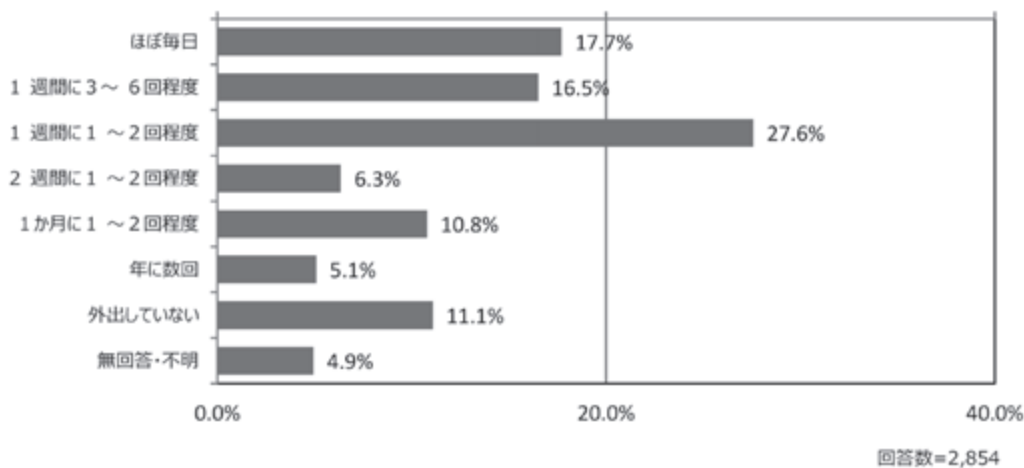
最も多いのが「どこに相談にいったらよいか、わかりにくい」と回答された方で割合は26.8%でした。次いで多いのが「相談に行く度に、同じことを何回も説明しなければならない」で10.7%、「いくつかの相談窓口を転々としなくてはいけない」で9.6%となりました。



9. 外出や余暇活動

- あなたはどのくらい外出していますか（通勤、通学、通院、通所を除く）。

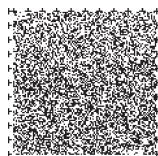
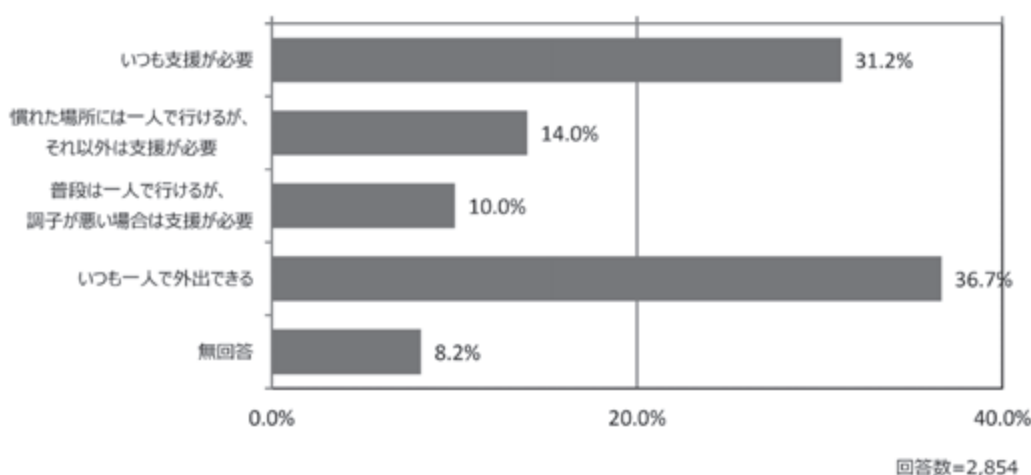
「1週間に1～2回程度」外出される方が最も多く割合は27.6%となりました。次いで多いのが「ほぼ毎日」で17.7%、「1週間に3～6回程度」で16.5%となりました。



- あなたが外出するときのことについておうかがいします。

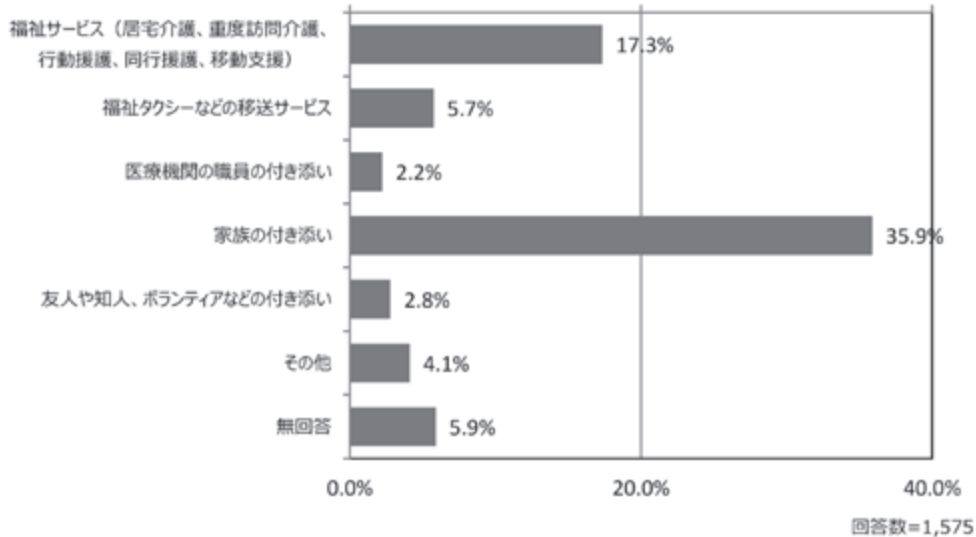
(1) あなたが外出するとき支援は必要ですか（1つに○をしてください）。

「いつも一人で外出できる」と回答された方が最も多く、割合は36.7%となりました。支援が必要な方の内、「いつも支援が必要」な方が最も多く割合は31.2%となりました。



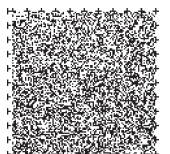
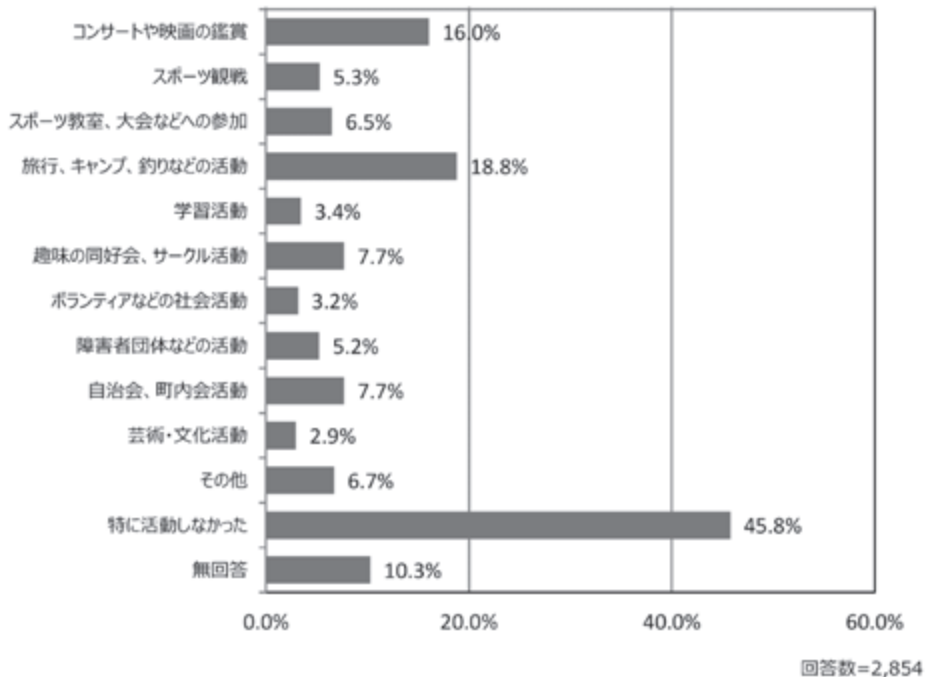
(2) (1) で「いつも支援が必要」「慣れた場所には一人で行けるが、それ以外は支援が必要」「普段は一人でいけるが、調子が悪い場合は支援が必要」と回答した方におうかがいします。どのような支援で外出していますか。

外出時の支援で最も多い方法が「家族の付き添い」で割合は35.9%となりました。次いで多いのが「福祉サービス（居宅介護、重度訪問介護、行動援護、同行援護、移動支援）」で17.3%となりました。



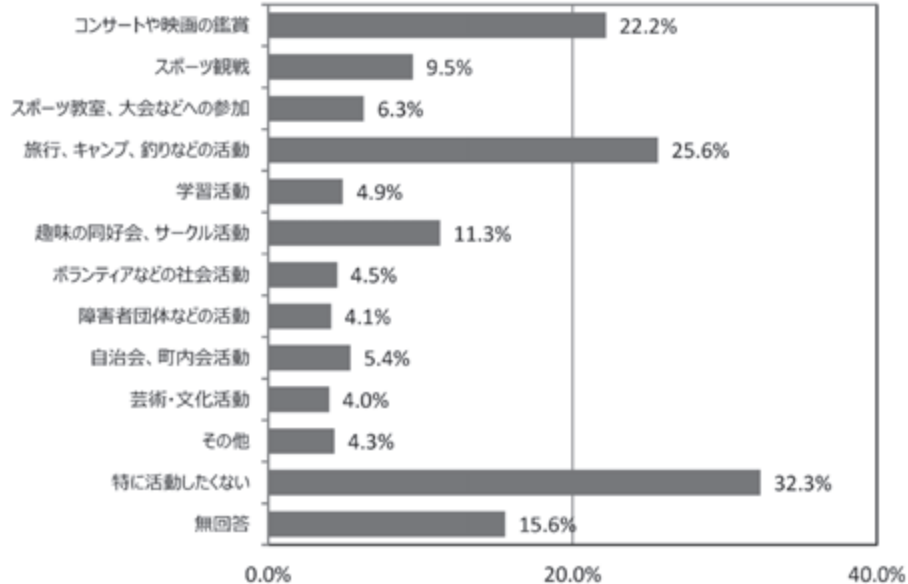
○ この1年間、どのような余暇活動をしましたか（あてはまるもの全てに○をしてください）。

「特に活動しなかった」と回答された方が最も多く45.8%でした。余暇活動された方の中、最も多かったのが「旅行、キャンプ、釣りなどの活動」で18.8%、「コンサートや映画の鑑賞」で16.0%となりました。



○ 今後、どのような活動をしたいですか（あてはまるもの全てに○をしてください）。

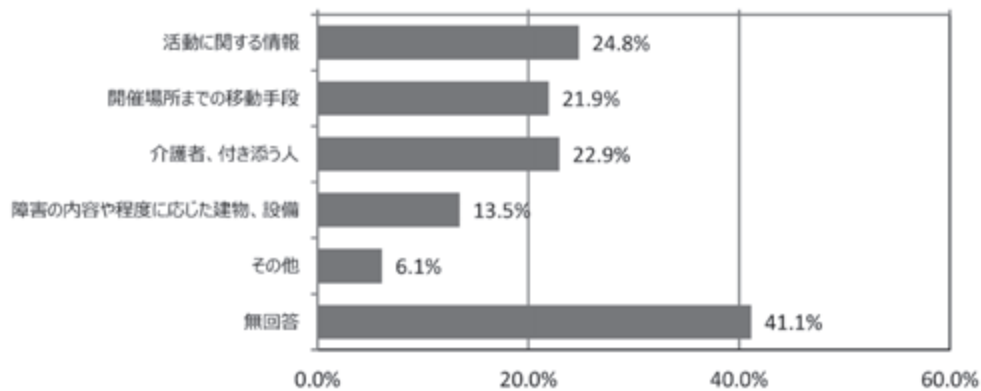
「特に活動したくない」と回答された方が最も多く、割合は32.3%となりました。今後活動をしたいと思われる方の中で、最も多かったのが「旅行、キャンプ、釣りなどの活動」で25.6%、次いで多かったのが「コンサートや映画の鑑賞」で22.2%となりました。



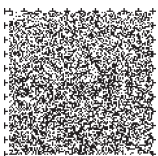
回答数=2,854

○ 上記の活動をするために、どのようなことが必要ですか（あてはまるもの全てに○をしてください）。

「活動に関する情報」を回答された方が最も多く、割合は24.8%となりました。次いで多かったのが「介護者、付き添う人」で22.9%、「開催場所までの移動手段」で21.9%となりました。



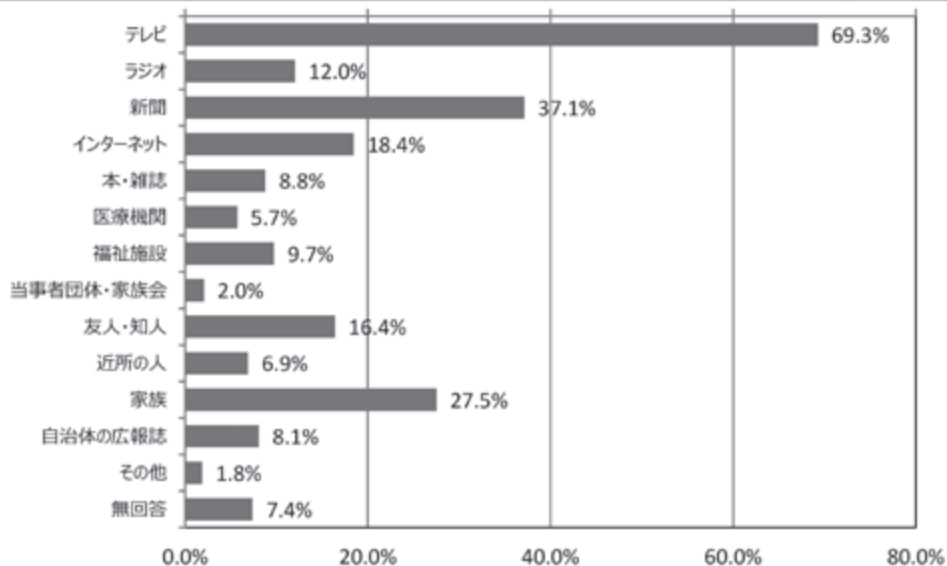
回答数=2,854



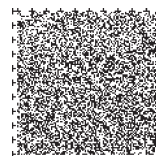
10. 必要な情報を集める方法

○ あなたは日常生活に必要な情報をどうやってつかんでいますか（多いものに3つまで○をしてください）。

情報をつかむ方法で最も多いのが「テレビ」で割合は69.3%となりました。次いで多いのが「新聞」で37.1%、「家族」で27.5%となりました。



回答数=2,854

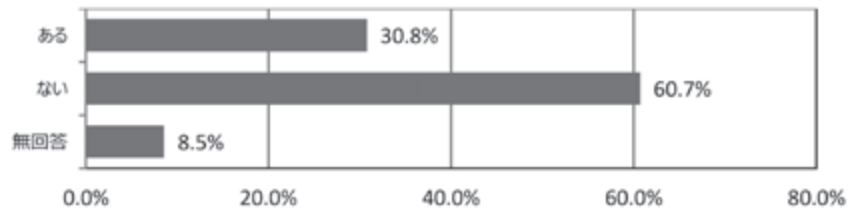


1 1. 人権や権利擁護

○ あなたが経験したことについておたずねします。

(1) あなたはこれまでに、障害があることで嫌な思いをしたり、配慮してもらえなかったことがありますか。

「ない」と回答された方のほうが多く、割合は60.7%となりました。

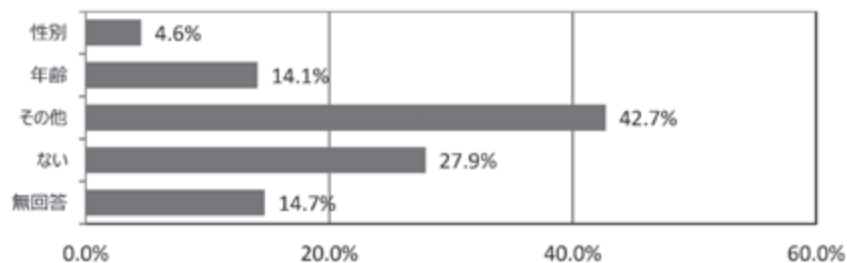


回答数=2,854

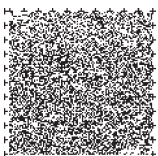
(2) (1) で「ある」と回答された方におたずねします。

障害があることに加えて、次のようなことで嫌な思いをしたことがありますか。

「ない」と回答された方が最も多く割合は27.9%でした。嫌な思いをされたことがある方の内、年齢で嫌な思いをされた方は14.1%、性別で4.6%となりました。



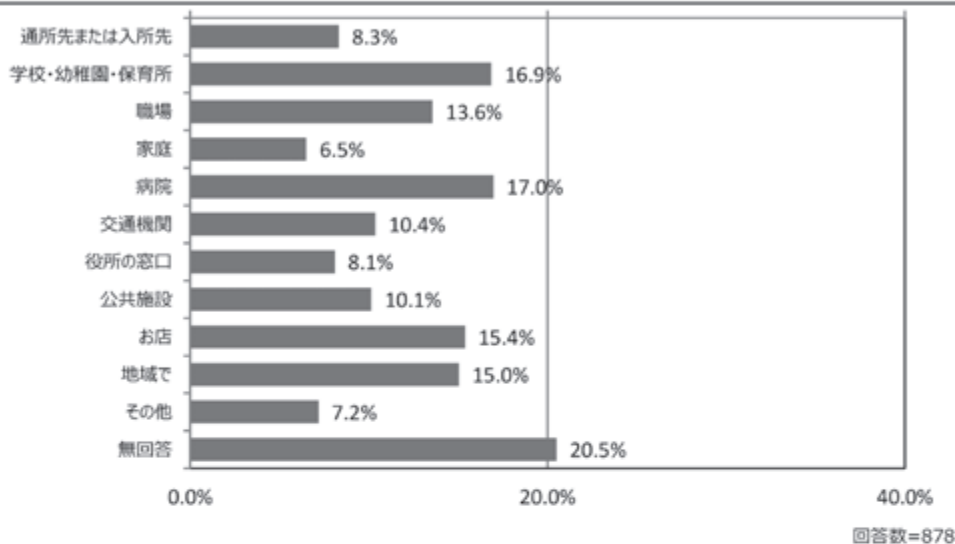
回答数=878



○ (1) で「ある」と回答された方におたずねします。

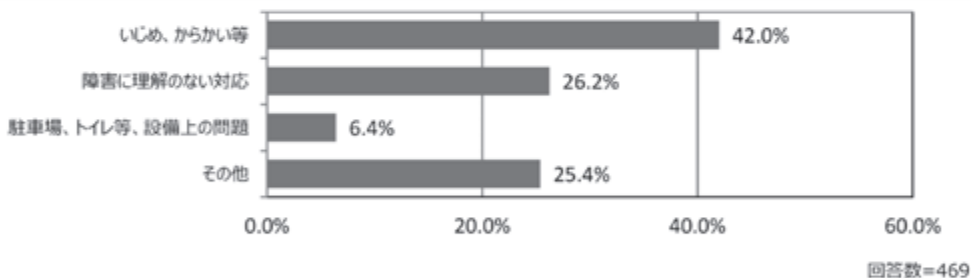
(1) 嫌な思いをしたり、配慮してもらえなかったのは、どのような場所でしたか
(あてはまるもの全てに○をしてください) 。

最も多い場所が「病院」で17.0%、次いで「学校・幼稚園・保育所」が16.9%、「お店」が15.4%となりました。



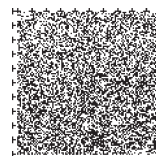
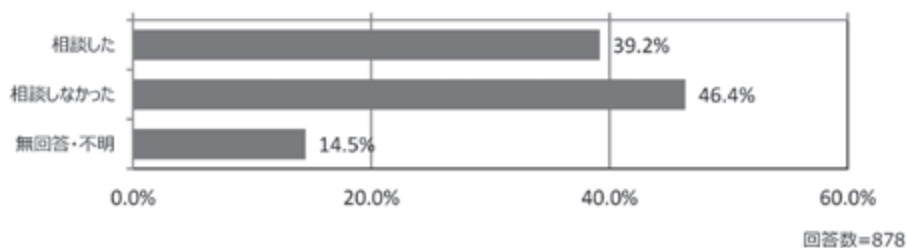
(2) それは、どのような内容でしたか。

最も多かったのが「いじめ、からかい等」で割合は42.0%となりました。次いで多かったのが「障害に理解のない対応」で26.2%となりました。



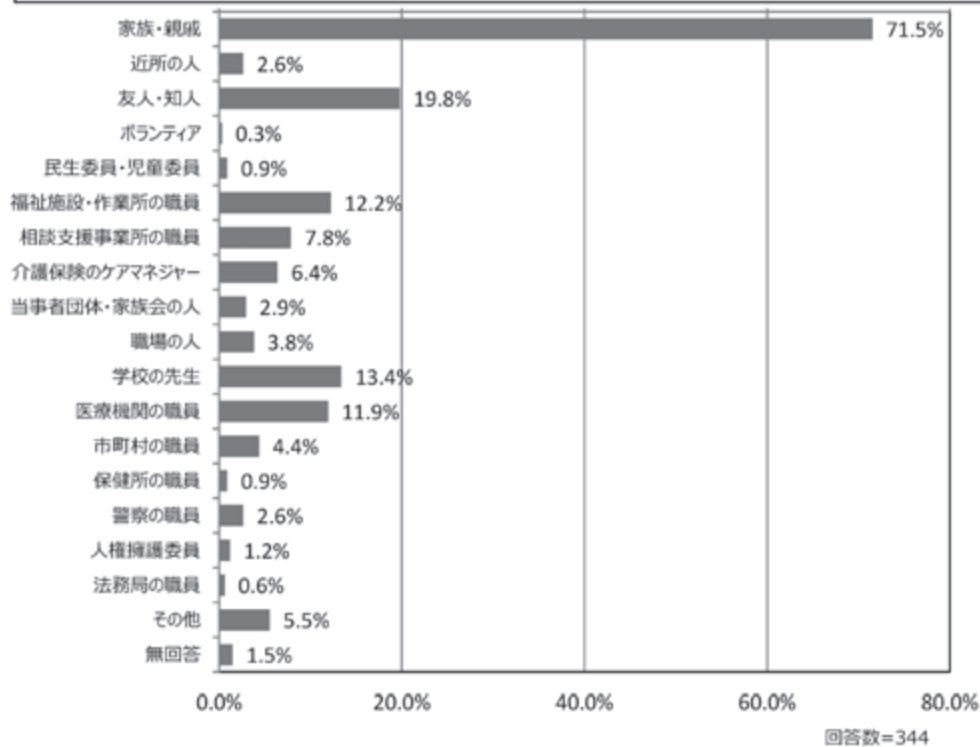
(3) 嫌な思いをしたり、配慮してもらえなかったとき、誰かに相談しましたか。

「相談しなかった」方のほうが多く、割合は46.4%となりました。



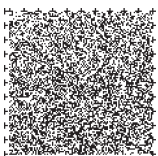
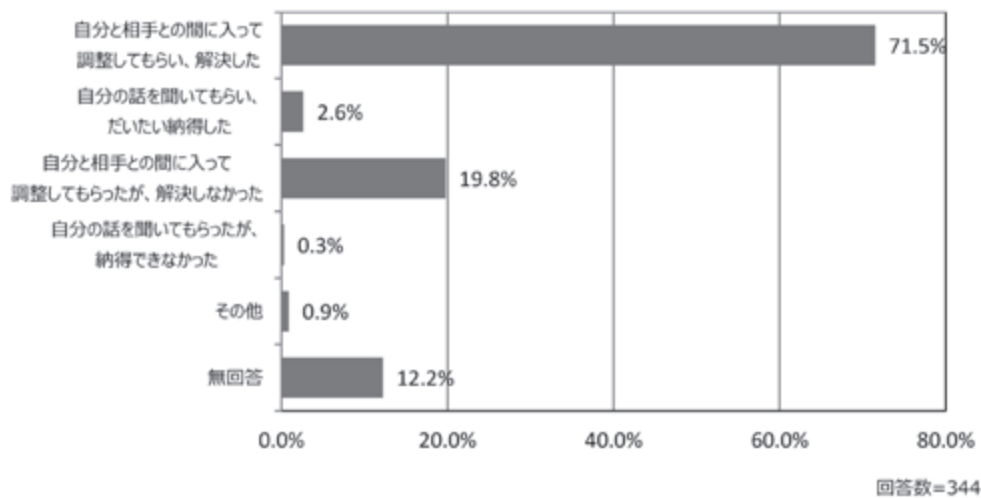
(4) (3) で「相談した」とお答えされた方におたずねします。誰に相談しましたか。
(あてはまるもの全てに○をしてください)。

相談相手として最も多かったのが「家族・親戚」で71.5%となりました。次いで多かったのが「友人・知人」で19.8%、「学校の先生」で13.4%となりました。



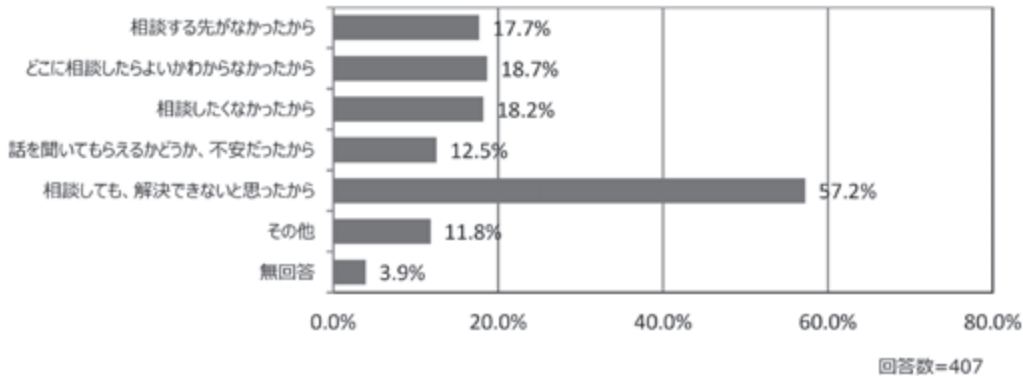
(5) 相談した結果、どうなりましたか。

「自分と相手との間に入って調整してもらい、解決した」方が最も多く、割合は71.5%となりました。次いで多かったのが「自分と相手との間に入って調整してもらったが、解決しなかった」方で割合は19.8%となりました。



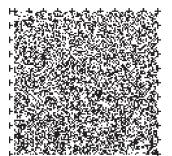
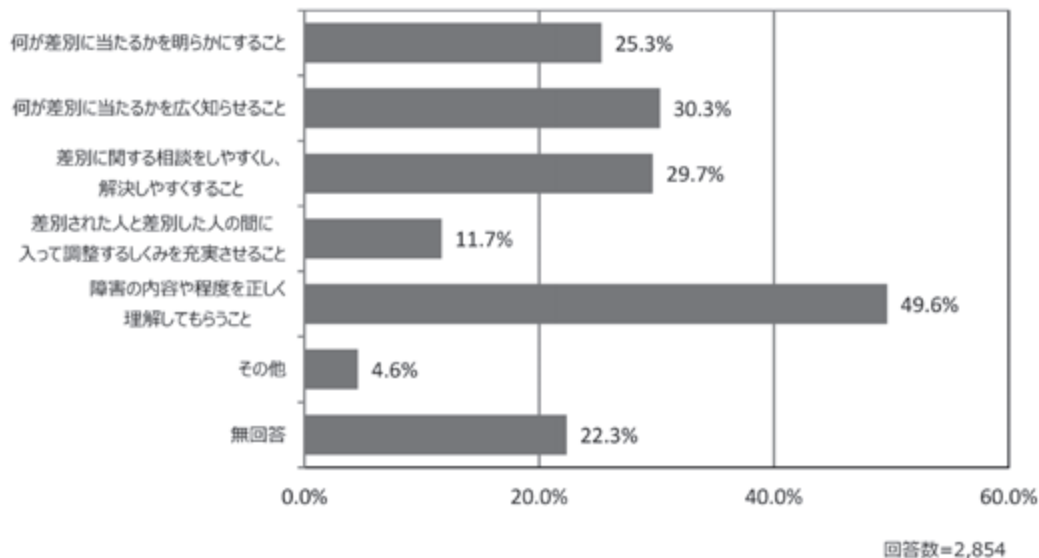
(6) (3) で「相談しなかった」とお答えされた方におたずねします。相談しなかったのはなぜですか（あてはまるもの全てに○をしてください）。

「相談しても、解決できないと思ったから」と回答された方が最も多く、割合は57.2%でした。次いで多かったのが「どこに相談したらよいかわからなかったから」で割合は18.7%となりました。



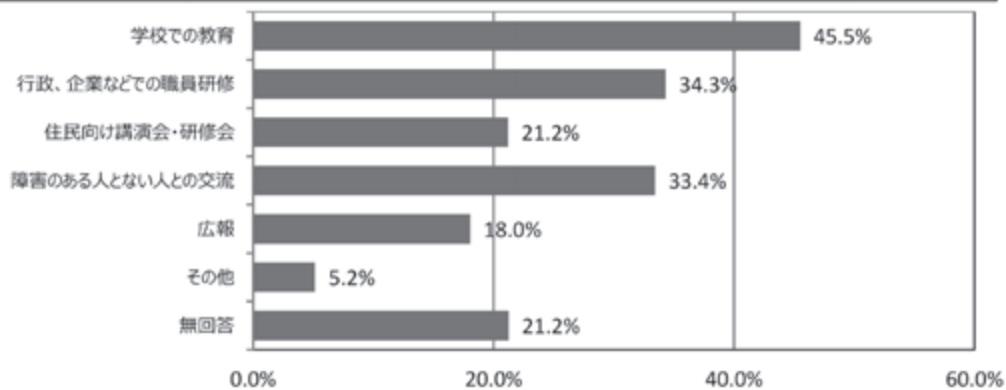
○ 全ての方におたずねします。障害を理由とする差別をなくすためには、どのようなことが必要と思いますか。（あてはまるもの全てに○をしてください）。

最も多かったのが「障害の内容や程度を正しく理解してもらうこと」で割合は49.6%となりました。次いで多かったのが「何が差別に当たるかを広く知らせること」で割合は30.3%でした。

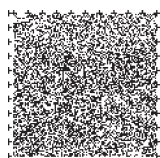


- 全ての方におたずねします。障害を理解してもらうためには、どのような方法が効果的だと思いますか。
(あてはまるもの全てに○をしてください)。

「学校での教育」と回答された方が最も多く、割合は45.5%となりました。次いで多かったのが「行政、企業などでの職員研修」で34.3%、「障害のある人とない人との交流」で33.4%となりました。



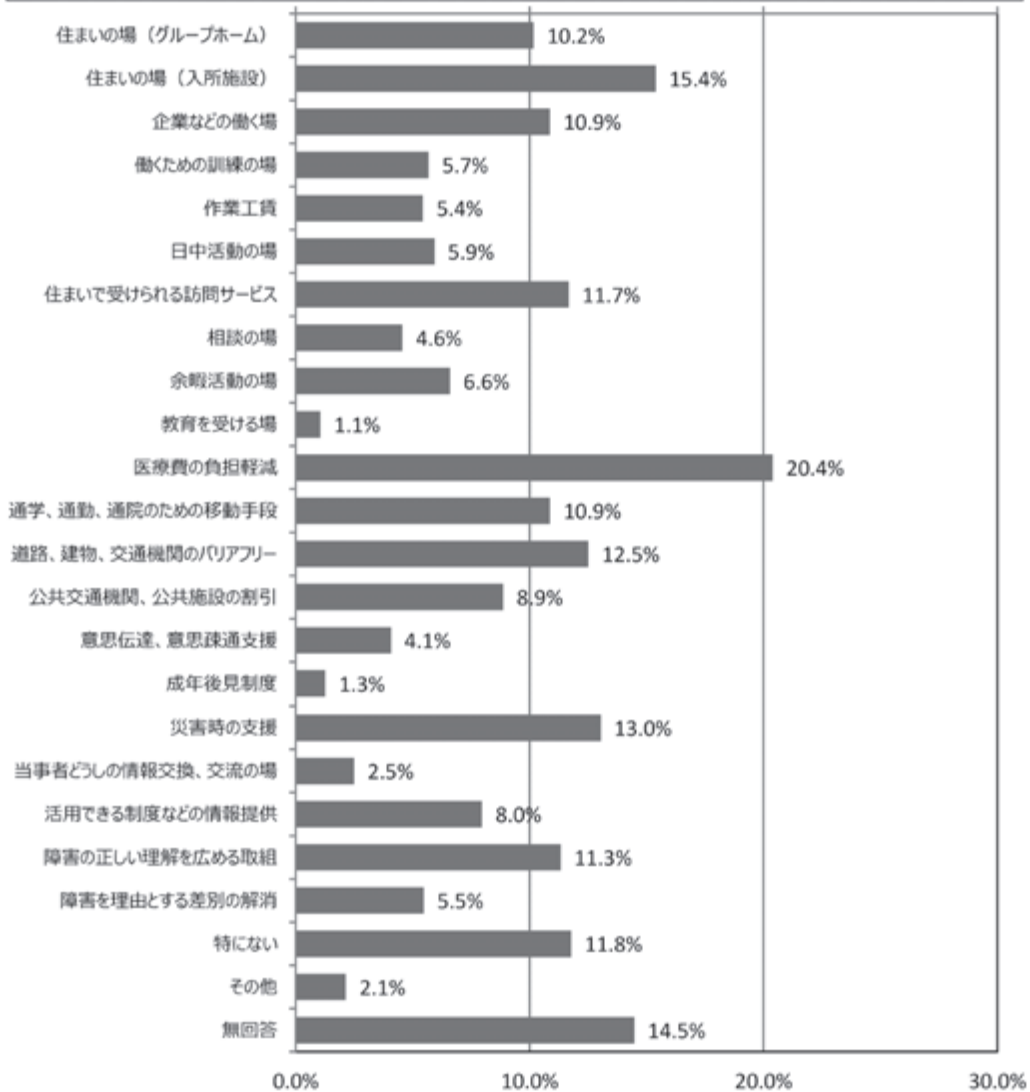
回答数=2,854



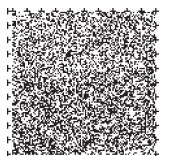
1 2 . 障害のある方への取り組み

○ あなたが今後生活するうえで、充実させてほしいと思うことは何ですか（次の中から3つまで○をしてください）。

最も多い回答が「医療費の負担軽減」で、割合は20.4%となりました。次いで多かったのが「住まいの場（入所施設）」で15.4%となりました。



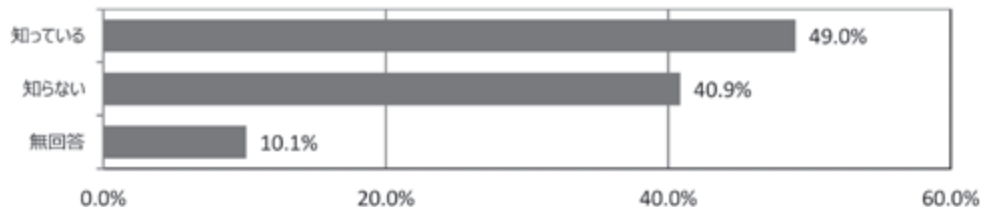
回答数=2,854



○ 県が実施している「障害者等用駐車区画利用証制度」についておうかがいします。

(1) あなたは「障害者等用駐車区画利用証制度」をご存じですか。

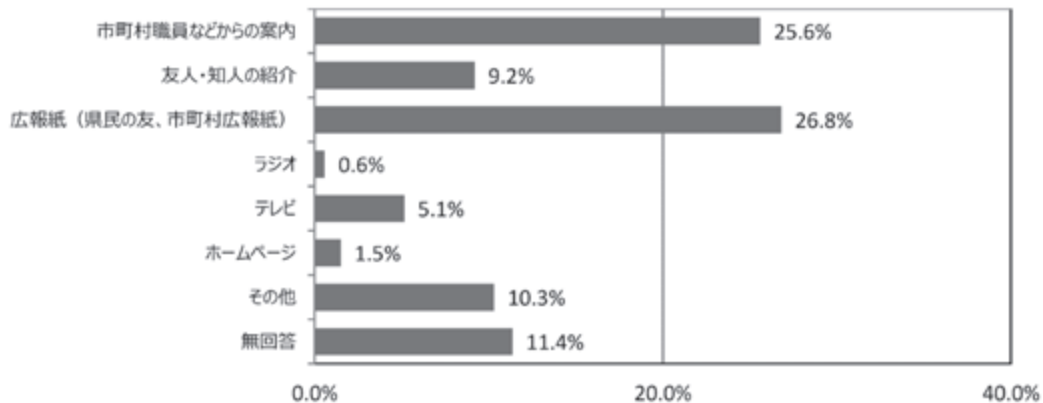
「知っている」と回答した方のほうが多く、割合は49.0%となりました。



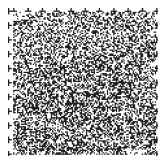
回答数=2,854

(2) (1) で「知っている」とお答えいただいた方へおうかがいします。制度を知ったきっかけは何ですか (1 つに○をしてください) 。

「広報紙 (県民の友、市町村広報紙) 」と回答された方が最も多く、割合は26.8%でした。次いで「市町村職員などからの案内」が25.6%となりました。



回答数=1,399



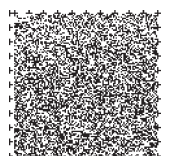
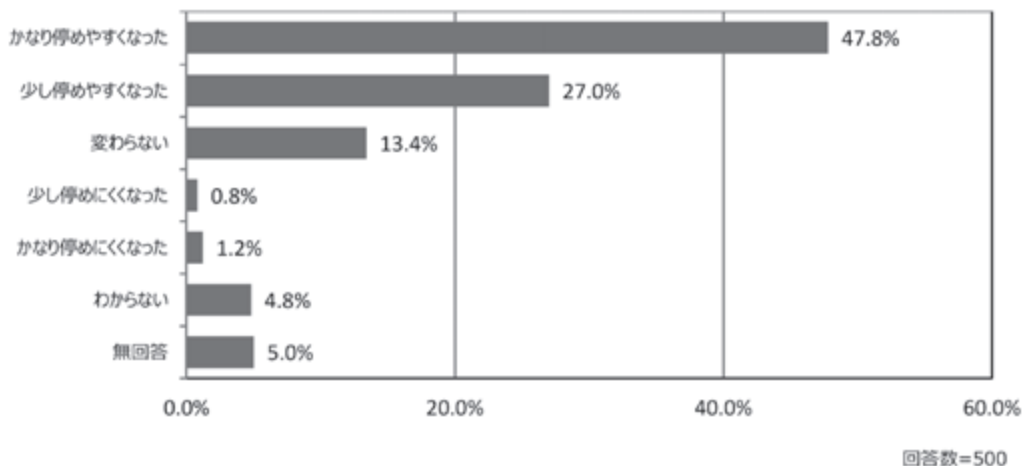
(3) あなたは「障害者等用駐車区画利用証」を持っていますか。

「持っていない」と回答された方は69.2%となり、「持っている」と回答された方は17.5%でした。



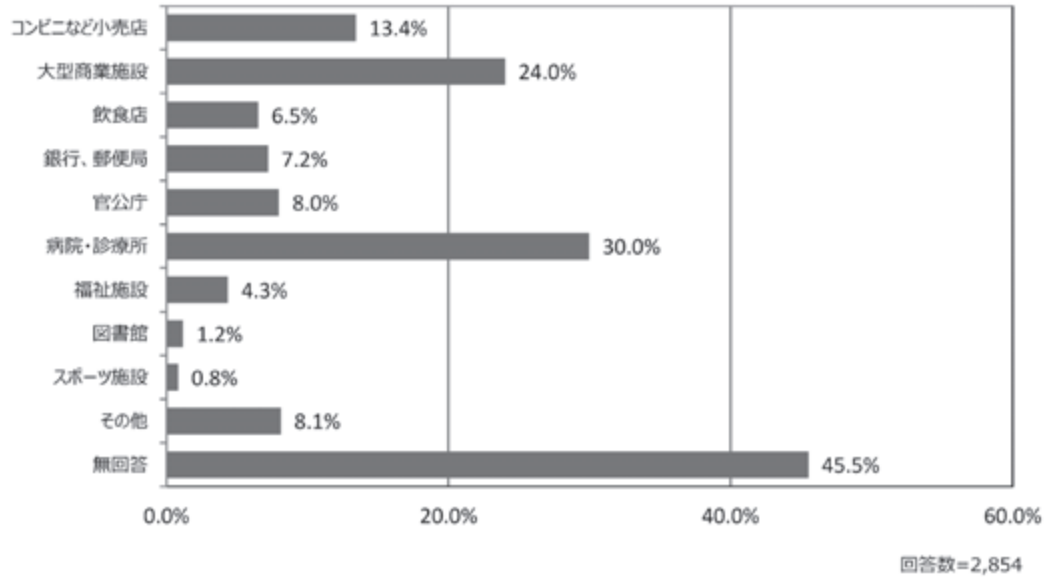
(4) 利用証をお持ちの方におうかがいします。利用証を持つことで、車いす使用者用駐車区画などに停めやすくなりましたか（1つに○をしてください）。

利用者証をお持ちの方の内、47.8%の方が「かなり停めやすくなった」回答しています。「少し停めやすくなった」と回答された方も27.0%となり、停めやすくなったと回答された方の割合は74.8%となりました。



(5) 全ての方におうかがいします。あなたが車いす使用者用駐車区画などをよく利用する施設はどこですか (多いものに3つまで○をしてください)。

最も多いのが「病院・診療所」で割合は30.0%となりました。次いで「大型商業施設」で24.0%、「コンビニなど小売店」で13.4%と続きました。



(6) 全ての方におうかがいします。「障害者等用駐車区画利用証制度」を充実させるために、何が必要だと思いますか (1つに○をしてください)。

最も多いのが「制度をもっと一般の人へ知らせて欲しい」で割合は38.8%となりました。次いで多かったのが「身近な場所 (市町村役場など) で申請できるようにして欲しい」で13.8%となりました。

